



2023年は関東大震災が発生してから100年の節目にあたります。

地震からちょうど1年後にあたる大正13年9月1日から4種類の手押し標語印があらたに使用開始されました。①「復興は先づ貯金から」、②「勤儉は復興の♁(カギ)」の2種は、主な被災地である東京及び横浜で、③「働け貯へよ末ハ繁昌」、④「勤儉は幸福の基」の2種は、それ以外の地域で用いられました。

上のハガキは、東京中央の①と、神戸の④が押されたもので、背景には②の標語を連想させるカギと新しいモダンな都市を建設せんとする意志に満ちた凜々しい青年が描かれていて、「り有力努二等我」の文字が添えられています。東京中央は9月3日、神戸は9月5日の日付で、新幹線などない時代ですから同じ日の消印で揃えるのは無理だったのでしょう。

(記：藤岡 靖朝〈日本郵楽会会員〉)